



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



自分の身は自分で守る！「防犯教室」

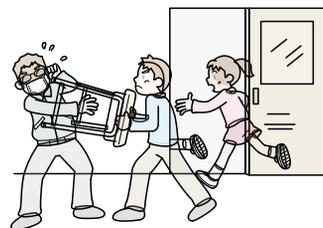
6月25（水）、防犯教室が、要田駐在所の〇〇さん、田村警察署の〇〇さん、スクールサポーターの〇〇さんに来ていただいて実施しました。今回の「防犯教室」の目的は、あつてはならないことですが、不審者が校舎内に侵入した際の教師の対応訓練と子どもたちの避難訓練です。53名の児童の命と12名の全職員の命を守るための「安全」の授業です。

- 想定
不審者（男性）が幼稚園側坂道から校地侵入後、中央昇降口から、何かを隠し持って、2階へ階段を上ろうとしている。
- 職員対応
 - ・1年担任が発見し、校内電話で職員室へ報告する。
 - ・報告を受けた校長が、教頭と養護教諭に指示を出す。主査は、110番通報と校内電話により各学級へ連絡する。
 - ・二人の教員は、不審者を校長室へ誘導する。その間に子どもたちは、合い言葉による放送により体育館に避難する。

のはずであったが、不審者が教員の指示に従わず、いきなり包丁を出したために、とっさに教頭は「不審者侵入、逃げろ～」と大きな声を出しました。その声と放送により、子どもたちは校庭（1年生）や非常階段（2・3階の児童）を使い体育館へ避難します。大声を聞いた校長は職員室から持っていったさすまたで不審者を押さえ、教頭は昇降口にあった置き傘で包丁をたたき落としました。

本当に包丁を持った不審者が侵入したらと思うと…。平成13年6月8日の児童殺傷事件を忘れてはいけません。8名の大切な命が奪われました。

学校は「安全」という「神話」を根底から覆した事件。あれから13年が過ぎました。生きていれば20歳になっていたはずなのに。



● 大阪教育大学附属池田小学校で起きた児童殺傷事件の概要

大阪教育大学教育学部附属池田小学校に出刃包丁を持った男1名（宅間 守被告人）が、平成13年6月8日（金）の2時間目の授業が終わりに近づいた午前10時過ぎころ、自動車専用門から校内に侵入し、校舎1階にある第2学年と第1学年の教室等において、児童や教員23名を殺傷した。

【犠牲者】 8名 [1年男子児童1名 2年女子児童7名]

★ 身を守るためのルール

危険から身を守るためには、「行かない」「逃げる」「声を出す」の3つの原則があります。

要田小では「イカのおすし」は身を守るが徹底しています。「いざ！」というときに、これを実行しようとしてもなかなか難しいので、普段からよく練習をしてしっかり頭にいれておくことが大切です。防犯教室では、3名の方々からお話を聞いたり、下校途中に知らない人から声をかけられたらどう行動したらよいかの体験をしたり、大声を出したりしました。お話は聞いただけでは忘れます。しかし、見たことは思い出します。そして、体験したことは理解します。「自分の身は自分で守る」ことの大切さを理解し、身に付くように学習できた「安全の授業」となりました。



※ 「防犯ブザー」ですが、下学年の児童はきちんとカバンにつけられています。上学年の児童の中には携帯していない子もいます。学校でも指導しますが、ご家庭でも確認していただき、電池の交換や新しいものを購入するなどの対応をお願いいたします。

防犯教室の様子

【スクールサポーター ○○さんから】

- スクールサポーターは、田村警察署に今年から配置され、子どもたちが安全に登下校ができるように見回りをしています。
- 子どもたちの避難はよくできました。静かにあわてないで行動できていました。
- 家に帰り遊びに行くときも、防犯ブザーは持ち歩くようにしてください。一人では遊ばないように。
- できるだけ一人にならないようにしてください。



【駐在所の○○さんから】

- 登下校時に不審者を見かけたら、すぐに保護者、学校、警察に知らせてください。
- 不審者に遭うと怖くて声が出ません。防犯ブザーは必ず携帯してください。近くの家を助けを求めてください。
- 遊びに行くときは、どこに行くのか、だれと遊ぶのか、何時に帰るのかなどをお家の人に話し、暗くなる前に必ず帰るようにしてください。



【警察署の○○さんから】

○ 「イカのおすし」は身を守る

- イカ：ついてイカない
 - ・「かわいい猫がいるよ。一緒に見に行こう」
- の：車に乗（の）らない
 - ・「車の中にネックレスを落として取れないから、取ってくれないかな」
- お：大（おお）声を出す
 - ・「助けて」大声を出してみましょう。
- す：すぐ逃げる
 - ・「近くに車を停めているから一緒に行こう」
- し：知（し）らせる



ひしぎょくろし
はなれる



★ 逃げるときには、車の進行方向とは逆の方向に逃げます。

「助けて」大きな声を出す練習です。



「自分の命は自分で守ります」真剣な態度で子どもたちは防犯教室に取り組んでいました。

変質者は、いつも「1人いる子ども」を狙っています。学校への登下校、近くの公園で遊ぶなどの場合でも、決して1人きりにならないように気をつけましょう。

